

# 企業ニュース JFEホールディングス

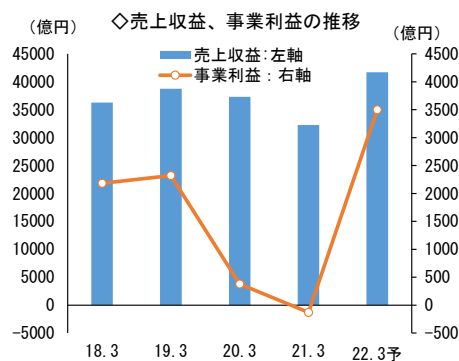
(東証1部: 5411) <https://www.jfe-holdings.co.jp/>

作成者: 奥村義弘

## 大手高炉メーカー

2002年、日本鋼管と川崎製鉄との経営統合により誕生。傘下に100%子会社のJFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事、その他持分法適用会社のジャパンマリユナイテッドなどを持つ。21.3期の売上収益構成比は、鉄鋼60%、エンジニアリング15%、商社25%。

24年度を最終年度とする中期経営計画では、50年のカーボンニュートラルに向け気候変動への取り組みを最重要課題と位置付け、鉄鋼事業におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減や洋上風力発電事業などに注力する。国内鉄鋼事業は鋼材1トン当たりの利益を追求し量から質への転換を図る。財務目標は24年度に連結事業利益3,200億円、当期利益2,200億円を掲げる。



(出所)JFEホールディングス資料よりCAM作成

## 鉄鋼事業がけん引し、業績大幅改善

22.3期・第1四半期(4-6月)の連結業績は売上収益8,889億円、前年同期比19%増、事業利益が884億円(前年同期は事業損失472億円)。鉄鋼事業のセグメント別利益は697億円、前年同期比1,275億円の改善。鋼材需要の回復による数量増、販売価格の上昇がプラス寄与した。なお鉄鉱石価格の上昇によりスプレッド(鋼材価格-原料価格)は悪化した。また鋼材価格の上昇で棚卸資産評価差は490億円と大きくプラス寄与した。

22.3期の会社計画は売上収益が4兆1,700億円、前期比29%増、事業利益が3,500億円(前期は事業損失129億円)。売上収益で2,400億円、事業利益で1,500億円の上方修正。鋼材需要は、半導体不足による自動車の生産減の影響などはあるが、製造業を中心に堅調さが続くと想定。単独粗鋼生産量は上期1,300万トン弱、下期は1,350万トン強。鋼材市況は高位継続、原料価格は高値圏推移を想定する。原料コスト上昇の早期反映など販売価格改善の取り組みを推進する点は収益安定化に向け好感できる。洋上風力発電用大単重厚板の製造体制の確立、電磁鋼板戦略の推進、ハイテンの熱間連続圧延技術の開発など高付加価値品比率引き上げに向けた動きも進めている。

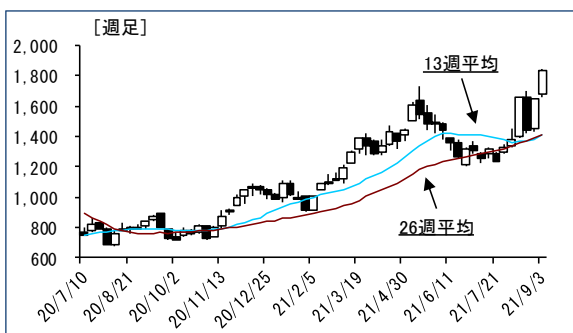
## [株価動向・投資判断]

大口需要家の自動車向け個別交渉価格引き上げの報道は株価にポジティブ。当期の期末配当金は未定だが、中間配当金は1株当たり60円を計画。高い配当利回りにも関心が集まろう。

### <5411 JFE 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益 百万円 (伸び率)	事業利益 百万円 (伸び率)	税引前利益 百万円 (伸び率)	当期利益 百万円 (伸び率)	1株利益 円	1株配当 円
20.3	3,729,717 (▲4)	37,899 (▲84)	▲213,473 (-)	▲197,744 (-)	▲343.4	20.00
21.3	3,227,285 (▲13)	▲12,911 (-)	▲4,930 (-)	▲21,868 (-)	▲38.0	10.00
22.3 予	4,170,000 (29)	350,000 (-)	340,000 (-)	240,000 (-)	416.8	未定



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/9/3)	1,839 円
年初来高値(高値日)	1,840 円 (21/9/3)
同 安値(安値日)	904 円 (21/1/28)
予想 P E R (22.3 予)	4.4 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	3,077.9 円
P B R	0.60 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金 未定)	- %
R O E (21.3)	▲ 1.3 %
発行済み株式数	61,444 万株